

## 「在宅療養における服薬支援体制図(各関係機関の役割)(案)」および「服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)」に対する意見と対応

No	資料名	場所	意見	対応
1	在宅療養における服薬支援体制図(各関係機関の役割)(案)	全体	主治医から生活面等の相談や指示をすることがあるため、主治医から地域包括支援センター・ケアマネジャーに向かっても矢印があったほうが良い。	追加します。
2	在宅療養における服薬支援体制図(各関係機関の役割)(案)	全体	支援者からの一方的な支援ではなく、患者・家族が主体となるような支援・連携体制図になっているのか気になった。	高齢者の「意思決定」が基本にあることを図に記載します。
3	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)(旧「服薬管理体制・役割イメージ(案)」)	全体	高齢者の状況と各職種が行う支援とのつながりがわかりにくい。	高齢者の状況に網掛けをし、そこから矢印を追加することによって、課題と支援との関係を見やすくします。
4	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	ケアマネジャー	地域包括支援センターはケアマネジャーの欄にあたると思うが、「ケアプランの策定・見直し」のところに「在宅療養管理指導の導入」や「訪問看護の導入」が入ると思う。	括弧書きで「在宅療養管理指導の導入・訪問看護の導入等」を追加します。また、ケアマネジャーの欄に地域包括支援センターも追加します。
5	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	ケアマネジャー	退院前カンファレンスでの情報共有も追加すると良い。	追加します。
6	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	訪問看護	「薬剤師との連携」があると良い。	すべての職種が連携していることを前提として役割を記載していますので、表への記載はありませんが、薬剤師と訪問看護師は連携をとっているものとします。
7	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	医師 歯科医師	歯科医師の役割として「口腔内や嚥下の状態の確認」を追加して欲しい。たとえ薬が飲めても口腔内に残っている場合がある。	医師の欄に歯科医師を追加し、支援に「口腔内・嚥下の状態の確認」を追加します。
8	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	特に薬剤師が 介在するメリッ ト	高齢者の状況「経済的理由」に対して「ジェネリック医薬品への提案が出来る」とある。それでは、経済的理由とジェネリック医薬品を短絡的に結びつけ「お金がないからジェネリックを選択する」との誤解が生じる可能性があるのではよくない。「経済的理由」に薬剤師が介在するメリットに、残薬調整についての記載があった方が良い。	「残薬調整の結果、医療費が削減できることがある」を「ジェネリック医薬品への提案ができる」の前に追加します。
9	服薬管理の課題に対する各職種の支援一覧(案)	訪問介護	訪問介護が訪問看護と同じ役割を担うような表現になっており、差が感じられない。訪問介護の役割にあった表現に変更した方が良い。	訪問介護の役割について記載を変更します。